

米倉教公の週間為替市場見通し

5/30 日週号

ドル/円予想レンジ 109.00 - 111.90 円

『引き続き FRB メンバー発言に注目！』

■今週の市場動向：110 円台を挟んだもみ合い相場

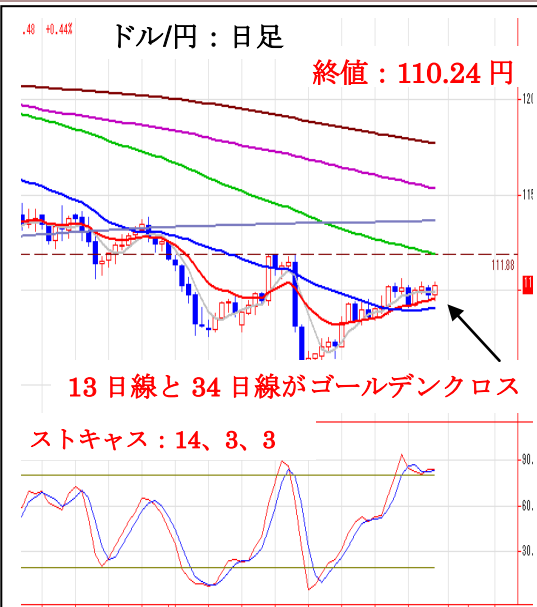
今週のドル/円の週足では、下ヒゲ陽線引けとなり 4 連陽となった。前週は全般的に 110 円を挟んでのもみ合い相場となった。週明け 23 日は、上値の重さや日本株が一時大幅下落したことで、リスク回避の円買いが強まったが 109 円台を維持した。24 日は米 4 月新築住宅販売件数が予想を大幅に上回る結果を受け、米国内景気回復を好感してリスク選好の動きが強まり一時 110.44 円まで上昇した。ただ、20 日の高値 110.59 円が意識されると伸び悩んだ。26 日は、午前の早い時間に特にドル売り・円買いの材料もないなか、ドルが失速し一時 109.54 円まで急落した。市場では『コンピュータを駆使したアルゴリズム取引に絡んだ円買い・ドル売りが入った』との指摘があった。欧米市場に入ると好調な米経済指標などを受けて 110.23 円まで買い戻される場面もあった。しかし、米長期金利の低下を受けてドル売りが強まり、109.38 円まで値を切り下げた。週末 27 日はイエレン米 FRB 議長が早期の追加利上げに前向きな姿勢を示したことを受けて、一時 110.44 円まで買い戻される展開となった。

■来週の注目点：引き続き FRB メンバー講演での発言に注目！

来週の注目点は、米国の金融政策を横目に睨みながら、国内政策がどう出のかを判断する週になる。安倍首相はリーマン以来の危機がくるかもしれないと発言し、消費税増税を延期する可能性が高い。また政策をパッケージで示す可能性も高まっている。ただ、市場ではある程度織り込んだ動きとなっていることから、材料出尽くしとなる可能性もある。また、米利上げの判断材料となる 5 月米雇用統計などの重要な経済指標や ECB の金融政策発表を控えているため次第に動意づく可能性が高まる。来週も米 FRB メンバーの講演予定が多く、ドルの下支えとなる追加利上げ発言が多く発せられる可能性がある。ただ、ここまで早期利上げ観測が高まってきたにも関わらず、NY ダウが底堅く推移していることで、利上げを織り込んだ可能性が高い。

■テクニカル的な見解

5 月 24 日付のシカゴ IMM 投機筋の対米ドルの差し引き持ち高で、円は前週の +58,919 から +22,059 へと円の買い持ち高は減少した。1 月中旬以来で最小となった。ちょうどこの期間は 109 円台から 110 円台を回復した時期であり、110 円近辺でストップロスが入りポジション調整があったものと思われる。フィボナッチ係数線では、13 日指数平滑線（赤）と 34 日単純線（青）がゴールデンクロスしてきていることで、先行感が強まる可能性が高い。一方、ストキャスティクス・スロー（パラメータ：14、3、3、20、80）では過熱感が出てきている。ただ、13 日線が下値支持ラインとなり上昇していることから、押し目は拾い場となる可能性が高い。上値では 20 日高値 110.59 円が上値の厚い壁となっている。ここを突破すると、4 月 28 日高値 111.88 円や 89 日線（緑）の 111.90 円が上値目途となり、この上値を突破すると上値切り上げの上昇相場となる。下値は 13 日線の 109.58 円、34 日線の 109.10 円が下値目途となる。



★先週の気になる出来事

為替相場にとって波乱含みだった 5 月も終ろうとしている。振り返ってみると、TV では、今日明日にでも 105 円を割れて 100 円まで円高が進むと叫んでいたアナリストやエコノミストは今何処に行ってしまったのだろうか。また、円高で稼いでいた投資家も『夏草や兵どもが夢の跡』の如くストップロスを巻き込みながら、消えてしまったのだろうか？いや彼らは再び円高基調になると、何処からともなく現われて、再び理屈をコネながらもっともらしい円高相場を語るのだろうか。

商号：株式会社フジトミ

金融商品取引業者：関東財務局長(金商)第 1614 号

商品先物取引業者：農林水産省指令 22 総合第 1351 号,経済産業省平成 22・12・22 商第 6 号

加入協会：日本証券業協会、日本商品先物取引協会、一般社団法人金融先物取引業協会、

■くりっく 365 の売買手数料は 1 枚当たり最大でインターネットスタンダードコースが片道 0 円 (税込)、インターネットプレミアムコースが片道 648 円 (税込)、コンサルタント取引 (対面取引) コース及びコンサルタント取引 (対面取引) オンライン併用コースが片道 1,080 円 (税込) です。

■くりっく 365 における証拠金の額は、株式会社東京金融取引所が定める為替証拠金基準額で、原則週次で見直されます。その額は通貨ペアによって異なり、個人のお客様の場合最大で約 25 倍のお取引が可能です。

【くりっく 365－為替証拠金基準額の算出方法】

金融先物取引所が定める為替証拠金基準額は以下の計算式に基づき、算出致します。

計算式：為替証拠金基準額＝取引単位 (元本金額) ×4%× (5 取引日の為替清算価格平均値)

■「くりっく 365」には、以下のリスクがあります。

【価格変動リスク】

くりっく 365 は、取引する通貨の価格の変動に伴い差損が生じる場合があります、元本や収益が保証されるものではありません。建玉を維持するために追加で証拠金を差し入れる必要が生ずる場合があります。また、差入証拠金以上の損失が生ずる場合があります。

【レバレッジリスク】

くりっく 365 は、取引の額が預託された証拠金に比して大きくなるため、価格変動リスクその他のリスクがその比率に応じて増幅されます。レバレッジにより、その取引について必要となる証拠金の最大 25 倍までのお取引を行うことができます。

【信用リスク】

当社は、東京金融取引所を相手方とした「清算制度」に参加しており、お客様の証拠金は、全額取引所が区分管理しているため、原則として全て保全されています。しかし、当社の信用状況の変化等により支払いが滞ったり、破綻した場合には、返還手続きが完了するまでの間に時間がかかったり、その他不測の損失を被る可能性があります。

【システム障害リスク】

当社及び東京金融取引所のシステム、又はお客様、インターネット業者、東京金融取引所の間を結ぶ通信回線等に障害が発生した場合には、相場情報等の配信、発注・執行等が遅延したり、不可能になることがあり、その結果、不測の損失が発生する可能性があります。

【税制・法律等の変更リスク】

税制・法律又はその解釈等が将来変更され、実質的に不利益な影響を受ける可能性があります。

【金利変動リスク】

取引対象である通貨の金利が変動すること等により、保有するポジションのスワップポイントの受取額が減少、又は支払額が増加する可能性があります。ポジションを構成する2国間の金利水準が逆転した場合等には、それまでスワップポイントを受け取っていたポジションで支払いが発生する可能性もあります。また、一部の通貨においては、外国為替市場における当該通貨の需給関係等の影響を受けて、金利変動によらずにスワップポイントの増減や支払いの逆転が生じたり、場合によっては、金利の高い方の通貨の買いポジションでスワップポイントの支払いが生じる可能性があります。

【流動性リスク】

くりっく 365 で提示する為替レートには価格差（スプレッド）があります。くりっく 365 では、マーケットメイカーが買呼値及び売呼値を提示し、それに対してお客様が注文を発注して取引が成立する方式を取っています。状況（天変地異、戦争、政変あるいは為替相場の激変等）によって、マーケットメイカーによる買呼値や売呼値の安定的、連続的な提示が不可能または困難となることがあり、その結果、想定する価格で取引ができないなど、お客様にとって不測の損失が生じる可能性があります。また、一部の通貨において母国市場等の休業の場合には臨時に休場することがあります。更に、当該国の為替政策・規制による他通貨との交換停止や外国為替市場の閉鎖の措置がなされるなどの特殊な状況が生じた場合には、特定の通貨ペアの取引が不能となる可能性もあります。なお、平常時においても流動性の低い通貨の取引を行う場合には、希望する価格での取引ができないなどの不利益を被る可能性があります。

【コンバージョンリスク】

クロスカレンシー取引においては、決済が当該通貨ではなく円貨でなされることから、決済時に当該通貨の為替リスクの他に円との為替リスクがあります。

【ロスカットのリスク】

相場の変動により、有効比率が当社の定める基準以下となったことを当社が確認した場合、お客様の意思に関わらず、当社はおお客様の全ての未約定注文の取消及び全ての建玉の決済注文（ロスカット注文）の発注を行います。

ロスカットの場合でも、相場の急激な変動により損失の額が差し入れた証拠金の額を上回る可能性があります。

【情報リスク】

当社からご提供させていただく情報は、くりっく 365 の取引の参考としていただく資料です。その記載情報は、信頼性、正確性、完全性において保証されるものではありません。また、情報内容も予告なしに変更することもあります。

【その他】

取引所為替証拠金取引の売買は、クーリング・オフの対象とはなりません。取引所為替証拠金取引に関しましては、金融商品取引法第 37 条の 6 の規定の適用対象とはなりませんので、ご注意ください。

※くりっく 365 は、株式会社東京金融取引所の登録商標です。